



モッピーだよ

特定非営利活動法人  
ふれ愛びっく大阪クラブ  
責任者 竹中重夫  
柏原市大正1丁目3番25号  
<http://www.kawachi.zaq.ne.jp/fureai/>

# 2003年ルール研修会

- 徳島・三重・愛知・滋賀・岡山からも参加 -



熱心に聞き入る受講生

1月26日懇親会に先立ち約2時間、基本的なルールの確認と実際に起きた事柄や今後起こり得る事例を23例選んで研修をした。例年のように講師が解答を出し説明するという方式を変えて、事例に対して受講生が意見交換して、答えを見つけていくという、ブレインストーミング方式を取り入れた。行われたプレーに対して、審判員としてどの様に対応して行くのが良いかを、お互いにディスカッションしていくなかで理解を深めたのではないかと思います。この研修の成果を今後の試合に生かしていけると思います。又、今回は、徳島・三重・愛知等府外からの受講者も多く、熱心に受講されました。

- (ルール委員長 堀川 記) -

## なごやかに 新年懇親会

大橋 博会長、勢力慶太郎副会長、供田 彰理事、山根康秀理事、品川時幸事務局員、加藤善彦ルール検討委員、山田信夫徳島県監督、溝上信利愛知県監督、血袋秀明大阪市監督、加藤公治三重県主将、守田清美大阪市主将(このほか選手7名) 奥山徳治大阪府視覚障害者福祉協会体育局委員、小林信夫岡山県視覚障害者福祉協会役員



2時間に及ぶ研修会の後、会場をラウンジに移し、大阪府・山根康秀監督、乾杯の音頭のもと、恒例の懇親会が開催されました。

研修会での激論の疲れを吹き飛ばすかのように、グラスのピッチが上がりました。

昨日の敵は、今日の飲み友達??

# シリーズ グランドソフトボールをささえつづける人達(9)

一宮市手話サークル  
「ひまわり」 代表 平野 肇

日本グランドソフトボール選



グランドソフトボールでは、全盲選手の人にはチームメイトの声と手ばたきの音を合図にプレーを行ないます。ピッチャーは全盲の人がやりますが、キャッチャーが手を叩く音を頼りにボールを投げます。スピードの緩急やストレートやカーブなど球種を変えて投げます。私達健常者には想像もつきません。

また、攻撃では全盲者はそれぞれの塁に付いているコーチの手をたたく音めがけて全力疾走し、コーチの合図でスライディングします。

私もやって見ましたが目を閉じて走る事自体、とても怖いです。まさに、「自分の安全を相手に任せる」ことであり、お互いの信頼がなければできないと、お手伝いをしながらいつも感じています。

会のプロフィール  
手話サークル「ひまわり」  
会員数 50名  
設立; 昭和48年10月  
代表; 平野 肇

### \* スケジュール

5月3日	第18回	愛知県一宮市	中日本
5月4日	中日本グランドソフトボール愛知大会	総合運動公園	グランドソフトボール連盟
5月31日	全国障害者スポーツ大会	大阪府八尾市	大阪府視覚障害者福祉協会
6月1日	近畿地区予選会	大阪府立久宝寺緑地陸上競技場	NPO ふれ愛びっく大阪クラブ
8月30日	ふれ愛びっく大阪クラブ	奈良県田原本町	NPO ふれ愛びっく大阪クラブ 福祉センター
8月31日	競技役員宿泊研修会	奈良県立心身障害者	

10月11・12・13日開催!!

第4回全日本グランドソフトボール選手権大会  
栃木県宇都宮市(柳田緑地ソフトボール場)



編集後記 明るく前向きに、みずみずしい感性を持って、世界に羽ばたくグラソフ目指し、夢に近づくと2003年にしたいと考えます。皆様のご協力、宜しくお願い致します。

<http://www.kawachi.zaq.ne.jp/fureai/>



# パールカップ MIE

## 春、待ち望んだ球春！

優勝 三重県

準優勝 愛知県

今年もパールカップMIEで、グランドソフトボールが始まった。  
試合結果は下記の通り。地の利を生かした三重県が優勝した。やはり、三重は強し！！

A面予選リーグ戦								
チーム名	愛知県	京都府	大阪府					
愛知県	-	3対2	3対1					
京都府	2対3	-	1対2					
大阪府	1対3	2対1	-					
B面予選リーグ戦								
チーム名	三重県	奈良県	大阪市					
三重県	-	7対2	4対1					
奈良県	2対7	-	5対2					
大阪市	1対4	2対5	-					
決勝戦								
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
三重県	3	1	2					6
愛知県	1	0						1



平成15年4月6日(日) 三重県津市「三重県身体障害者総合福祉センター」グランドにおいて、パールカップMIE大会(三重県グランドソフトボール連盟主催)を開催、大阪府・大阪市・京都府・奈良県・愛知県・三重県の6チームが参加し、平成15年グランドソフトボール競技の幕開けとして盛大に開催された。

大会は、80分ゲーム(パーセンテージ方式を採用、順位決定戦は試合時間50分)とし、3チームによる予選リーグ戦、決勝トーナメント戦を行った。

決勝戦は、5月26日に静岡県掛川市で開催される、第3回全国障害者スポーツ大会東海地区予選会第1回戦で対戦する、愛知県対三重県の前哨戦となり、双方全力で戦ったが、全国大会2年連続出場、第2回大会準優勝の実力を発揮し、見事愛知を6対1で破り、本年全国制覇を夢見る三重県チームが優勝し、好スタートを切った。愛知県チームは、富山で全国制覇をした経験を生かし、溝上監督を中心として、より一層の奮起・調整を行い、事実上の代表決定戦として、東海地区予選会で熱戦を展開し、三重県チームを破り、東海地区代表となることを期待する。

大阪府チームは、京都府に3対2で勝利、対愛知県は、初回に3点を先制するも、投手陣が乱れ、四球を連発、愛知県の逆転を許し、ノーアウト満塁と詰め寄ったが、惜しくも時間切れで敗退、3位決定戦で奈良県を破り、第3位に輝いた。今一層奮起し、近畿地区予選会の活躍を期待する。

優勝 三重県、準優勝 愛知県、第3位 大阪府、第4位 奈良県、第5位 大阪市・京都府となった。それぞれのチームは、5月に開催される第18回中日本グランドソフトボール愛知大会、第3回全国障害者スポーツ大会地区予選会に照準を合わせ、練習に励み、それぞれが悔いのない成績を残すことを期待する。なお、この大会には、ふれ愛びっく大阪クラブから審判員13名が参加、愛知県審判員4名とともに、9試合の審判を行なうとともに、愛知県から参加した記録員4名と協力し、大会運営に努め成功裏に大会を終了することができた。

## 岡山県審判講習会に参加して

ふれ愛びっく大阪クラブ 北山 武

桜前線とともに球春を告げるプロ野球、選抜高校野球が開催され、グランドソフトボールもまた各地域でそれぞれ本大会を目指し、練習に励んでおられる頃となりました。今回、平成17年に岡山県で行われる第5回全国障害者スポーツ大会に向けて、岡山県障害者スポーツ協会の主催で岡山県立盲学校において、グランドソフトボール競技のルール、実技の審判講習会が行なわれ、全日本グランドソフトボール連盟から、加藤審判長とふれ愛びっく大阪クラブから藤森、松野両先輩と小生の3名が講師として参加した。

1日目は、加藤審判長がグランドソフトボールのあらましとルールについて話され、講習会に岡山県ソフトボール協会のベテラン審判員等30余名が聴講され、最初は、オフィシャルルールと違う全盲者の判定に戸惑われていたが、分からぬところは熱心に納得のいくまで質疑応答され理解された。

2日目は、小雨のもと昨日の講習内容を各ポジションで球審、塁審の基本動作を反復指導された。その後、4班に分かれノック形式で各塁の審判の動きを行ったが、オフィシャルルールと違い大きな声を出さなければならないのと、全盲者に対する動きが違ふことで、戸惑われていたが次第に慣れられ、それもスムーズに行なえる様になられた。午後からは、本降りとなり、昨年の第2回全国障害者スポーツ大会の決勝戦、三重県チームと徳島県チームの試合と、ふれ愛びっく大阪の協力した「やさしいルール解説」の2本のビデオを見て研修会が行なわれ、ここでも熱心に、質疑応答されグランドソフトボールについて概略を理解された。

惜しむべきは、グランドでの実技が出来ればもっと理解できたように思われるのだが、雨のため出来なかった事が心残りである。2日間の短い時間だったが、グランドソフトボールの審判技術について見聞されたことは、何らかの形で身についたと思います。我々もそうだったように、これからは実戦をつまみ、技術の向上を図られれば、プレーヤーも信頼することになります。審判員の仲間が、増えることを我々も待ち望んでいます。未熟な私でしたが、今回の講習会に一助できたことを誇りとし、信頼される審判員になれるよう研鑽し、諸先輩に追いつきたいと思いません。

最後に雨の中、今講習会にご協力頂きました、グランドソフトボール岡山県チームの皆さんに厚く御礼申し上げます。

### 岡山県ソフトボール協会審判員等40数名が参加



2日間熱心に受講



実技研修を見守る岡山県の皆さん